

平成30年度事業報告

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

国内経済は、緩やかな回復が続いており、企業収益が過去最高を記録する中で設備投資が増加するとともに、雇用所得環境の改善により、個人消費の持ち直しが続くなど経済の好循環は着実に回りつつあります。県内においても同様であり、生産活動、個人消費ともに全体としては緩やかに拡大しつつあることから、雇用情勢は着実に改善しており人手不足感が強まっている。

県内シルバー人材センターの状況は、契約金額では派遣事業において増加したものの請負・委任を併せた契約金額では減少しています。また、会員数においても減少傾向が続き依然厳しい状況となっています。

当センターの平成30年度事業の概要は下記の表のとおりです。

項目	平成30年度実績	平成29年度実績	対前年度比
会員数	302人	280人	107.9%
就業実人員	267人	243人	109.9%
就業率	88.4%	86.8%	101.8%
受託件数	5,315件	5,195件	102.6%
配分金額	114,427,587円	115,672,984円	98.9%
契約金額	146,325,390円	146,930,806円	99.6%
派遣事業	6,839,879円	6,679,210円	102.4%
補助金(国)	7,830,000円	7,830,000円	100.0%
〃(町)	7,830,000円	7,830,000円	100.0%

平成30年度、新入会員は54人の入会があり、昨年度末より22人増となり会員総数が300人を超えました。平成22年から会員の減少傾向が続いていましたが、8年ぶりに会員増となりました。また、契約金額については146,325,390円で0.4%減と減少傾向が止まりつつありますが、減少要因としては、会員が就業する事業所で雇用となったことによるものと考えます。

センターでは、県連合会が開催する高齢者活躍人材育成事業講習会修了者に入会の勧誘、就業情報の案内、会員紹介等による会員拡大や人材育成講習が活用できる事業所への就業開拓、広報紙、折込チラシや事業所訪問など新たな就業拡大と会員の就業率アップに努めました。

安全就業では事故件数(物損、傷害事故)が減少しましたが、引き続き安全講習会、安全パトロール、職群別研修会、事故防止策等を会員に周知し安全対策に万全を期す必要があります。また、委員会活動につきましては、総務委員会では互助会活動で会員の融和と親睦、ボランティアやイベント参加によりシルバー活動についてPRしました。事業委員会では、会員の改善提案を受け作業の効率化に努めるほか、剪定等技能講習会、ワンコインサービス事業実施に取組ました。広報・地域活動委員会では、全地区で「地域懇談会」の開催と会員向けミニ広報紙、シルバーだよりを発行しました。安全・適正就業委員会では、安全パトロールの実施、事故要因の分析と防止に努めました。会員の皆さんには今後一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。以下、平成30年度の事業状況を報告いたします。